

# 平成 30 年度第 1 回「ていねっていいね！区民の集い」議事録（概要）

1 開催日時：平成 30 年 6 月 28 日（木）14 時～15 時

2 開催場所：手稲区民センター 2 階 区民ホール

3 出席者：出席 64 名、欠席 6 名

4 内容：以下のとおり

## (1) 次第 1 開会

- ・ 交代のあった参加団体代表者の紹介（資料 3 の参加団体名簿で網掛けのある方）
- ・ 運営委員の交代について（資料 1～3）
- ・ 参加団体数の変更について（資料 3）

### 【伊藤市民部長説明要旨】

- ・ 運営委員については、「区民の集い設置要綱」第 6 条第 3 項の規定により、座長が選任すると定められており、資料 2 の運営委員会構成員名簿のとおり笹渕座長が選任。
- ・ 昨年度まで参加団体であった山口連合町内会は解散、北海道薬科大学は、北海道科学大学に統合されたことから、参加団体の数は昨年度の 57 団体から今年度は 55 団体となった。

## (2) 次第 2 座長挨拶

### 【笹渕座長挨拶要旨】

区民の集いの目的は、区民が主役となり、安全で安心な「ふるさと手稲」づくりを推進することである。

手稲区が西区から分区してまもなく 30 年。私たちの手で手稲区で生まれ育った子どもたちが、「私のふるさと手稲」と言えるようにしなければならない。

本日は、区民の集いの平成 29 年度の活動報告と平成 30 年度の活動テーマと年間計画の議事があるため、活発な議論をよろしくお願いしたい。

## (3) 次第 3 区長挨拶

### 【小林手稲区長挨拶要旨】

「ていねっていいね！区民の集い」は、区民の皆様が主役となって、地域に愛着と誇りをもった「ふるさと手稲」づくりを進めることを目的に、平成 17 年度に設立されている。

皆様にはこの場を活用して、情報共有、情報交換などを行っていただき、より一層の連携が進むことを期待している。

また、来年の 11 月 6 日に手稲区は西区から分区して満 30 年を迎える。これを記念して北海道科学大学のご協力をいただき、ロゴマークの制作に着手した。第 2 回区民の集いで皆様の投票でロゴマークを決定したい。

#### (4) 次第4 議事

##### ア 「ていねっていいね！区民の集い」平成29年度活動報告

###### 【吉田地域振興課長説明要旨】(資料4)

- ・ 平成29年6月29日に区民ホールにおいて、第1回「ていねっていいね！区民の集い」を開催。平成29年度は、前年度に引き続き、活動テーマを「安全・安心なまちづくり」と「区の魅力づくり」の2つとした。
- ・ 8月29日にてっぼくひろばと手稲鉄北小学校体育館で開催された手稲区防災訓練に参加した。
- ・ 11月19日に区民ホールなどにおいて、第2回「ていねっていいね！区民の集い」として防災体験イベント「体感型防災アトラクション」を開催。
- ・ 11月27日に手稲区保健福祉部が主催した手稲区災害時支え合い研修会に参加した。

##### イ ていぬ活用委員会平成29年度事業報告

###### 【吉田地域振興課長説明要旨】(資料5～6)

- ・ 「ていぬ活用委員会規約」第1条にていぬ活用委員会は区民の集いの下に設置すると定められている。  
また、同規約第6条に事業計画、収支予算及び収支決算は区民の集いに報告しなければならないと定められており、平成30年5月22日にていぬ活用委員会で議決された内容について報告する。
- ・ 活用事業では、各種イベントへの参加(着ぐるみの貸出)は依然として多い状況。グッズの販売は、新商品としてボールペンとメモ帳の2点のほか、缶バッジ型ストラップも再販。また、次年度の販売に向けて新しいグッズの企画と商品化を行った。
- ・ 着ぐるみの使用頻度が高く、貸出を希望するイベントが重なることも多いため、まちづくり協議会や連合町内会、子ども会、学校などが行事を行う場合は、使用日の6カ月前からの受付とする使用基準の改定を行った。
- ・ 平成29年度収支決算は、差引468,292円が次年度へ繰り越しとなった。

##### ウ ていぬ活用委員会平成30年度事業計画

###### 【吉田地域振興課長説明要旨】(資料7)

- ・ 活用事業では、各種イベントにおいて主催団体と協力してグッズの販売を行うほか、新たなグッズの販売について検討する予定。また、区からの助成金を活用し、ていぬの着ぐるみ3体目を制作する予定。
- ・ 平成30年度収支予算は、事業収入として850,000円を見込むほか、着ぐるみの制作費として区からの助成金900,000円も計上するなどして、予算額合計は、2,218,302円となっている。
- ・ 皆様方には、ていぬの活用について、より一層のご協力をお願いしたい。

## エ 平成 30 年度手稲区の目標と取組について

### 【涌島総務企画課長説明要旨】（資料 8）

- ・ 「人に優しいまちづくり」と「ふるさと手稲づくり」の2つは、区民の皆さまに、手稲区に住んでいて良かったと実感していただくためのまちづくりの目標。
- ・ 目標達成のため、資料のとおり「魅力の再発見と発信」、「大学や近隣市と連携したまちづくり」、「安心して暮らせるまちへ」、「人と人が支え合うまちへ」の4つの取組を行う。

### 「魅力の再発見と発信」

- ・ 手稲山の魅力再発見として、今年度も手稲山ウォーキングなどの取組を実施する。
- ・ 手稲区親善大使の三浦雄一郎氏、手稲区ふるさと大使の伊藤多喜雄氏の2人を地域行事に招いた際の費用の一部に対する助成を引き続き実施する。
- ・ 資料に記載はないが、平成 31 年 11 月 6 日に手稲区が誕生して満 30 年を迎えることから、今年度から手稲区 30 周年に向けた準備を進めていく。

### 「安心して暮らせるまちへ」

- ・ 新規事業として、3年がかりになるが、避難所となる小中学校に、体育館の半分程度をカバーできるだけのブルーシートを配布する。
- ・ 札幌市全体の総合防災訓練を手稲区が当番区となって、9月3日に北海道科学大学の敷地で開催するのでご協力をお願いしたい。
- ・ 飲酒運転根絶に向けた啓発活動を小樽市とともに実施するほか、手稲警察署から提供された犯罪等の情報を区のホームページやラジオで周知する。

### 「大学や近隣市と連携したまちづくり」

- ・ 北海道科学大学と連携し、ていね夏あかりを開催する。
- ・ 小樽市・石狩市とともに、観光PRイベントを開催するほか、合同で交通安全街頭啓発を行う。

### 「人と人が支え合うまちへ」

- ・ 災害から避難する時に助けが必要な高齢の方や障がいのある方に配慮した避難体制づくりのための研修を地域に専門講師を派遣して行う。
- ・ 知的障がいのある方への資格取得支援として、今年度も介護職員初任者養成講座を実施する。
- ・ 区民センター1階に、子育ての困りごとを相談できる、こそだてインフォメーション「きてみてルーム」を3月末にリニューアルオープンしたほか、中高生や大学生向けに子育てへの関心を高めてもらうイベントを開催する。

## オ 手稲区地域防災事業者ネットワーク会議について

### 【涌島総務企画課長説明要旨】（資料 9）

- ・ 手稲区地域防災事業者ネットワーク会議は、平成28年2月に立ち上げており、当会議で共有された情報や議論の内容を区民の集いに報告するとともに、ご意見やご要望があれば、当会議にフィードバックして、区民の集いと連携を図りながら災害に強いまち手稲をともに構築していきたい。そこで、平成30年3月12日に開催された第3回事業者ネットワーク会議の内容などを報告する。
- ・ 新たなメンバーとして、株式会社LIXILビバ スーパービバホーム手稲富丘店が加わった。同店は富丘西宮の沢連合町内会とも防災協定を交わしており、当会議においても積極的に関与していきたいとの話があった。
- ・ またオブザーバーとして、小樽市銭函にある東洋水産株式会社北海道事業部も参加した。
- ・ 当会議では、株式会社日通総合研究所から基調講演があった。テーマは、「物流事業者からみた災害ロジスティクス」（災害ロジスティクスとは、救援物資が被災者の方々の手に渡るまでの過程をマネジメントすること）で、東日本大震災や熊本地震の事例を交え、指揮命令系統と物資調達・供給ルートの多元化、被災地への大量の支援物資流入のほか、市区町村の地域内輸送拠点がボトルネックとなり、避難所への配送遅延につながりやすいなど、課題が示されました。
- ・ 次に、医療専門部会から、医療関係機関同士の連携強化に向けた取組として、昨年9月25日に、広域災害救急医療情報システム（EMIS）の操作等に係る研修会を実施したほか、昨年10月21日に、北海道ブロックDMAT（災害派遣医療チーム）と合同の災害訓練を実施したことの報告があった。
- ・ また、手稲区独自の災害医療体制を構築するための取組については、昨年9月に札幌市保健所が中心となり、市全体での災害時医療体制のあり方を数年かけて検討する委員会を立ち上げたため、一旦休止し、全体像が見えてきた段階で、改めて検討するとの報告があった。

## カ 手稲区区制30周年ロゴマークについて

### 【涌島総務企画課長説明要旨】（資料 10）

- ・ 手稲区は平成元年11月6日に西区から分区して誕生。このため、手稲区役所では満30年となる平成31年度、来年4月からの一年間を「手稲区30周年」と位置付けることとした。
- ・ 節目となる「30周年」を広くPRするために、ロゴマークを制作し、さまざまな場面で地域や商店街、企業の皆様にご使用いただき、一体感を持っていただくことが肝要と考えた。
- ・ ロゴマークは、北海道科学大学に制作を相談したところ、快諾をいただき、先日より未来デザイン学部メディアデザイン学科の学生がボランティアで制作を開始したところ。
- ・ 今後、学生は手稲区内の様々な場所を訪問、あるいは地域の方に直接お話を伺うなど、さまざまな活動を通じて手稲区の魅力を学びながら制作を進め

ていく予定。その際はぜひご協力をお願いしたい。制作の過程は、ホームページ等で紹介していきたい。

- ・ ロゴマークの決定は、第2回区民の集いにおいて、皆様の投票で決定したいと考えている。次回、制作に参加した学生がロゴマークに込めた熱い想いを聞いたうえで、一票を投じていただきたい。

キ 「ていねっていいね！区民の集い」平成30年度年間計画

【竹谷運営委員長説明要旨】（資料11）

- ・ 平成30年度区民の集いの活動テーマは、昨年に引き続き、「安全・安心なまちづくり」と「区の魅力づくり」の2本柱として進めてまいりたい。
- ・ 年間の流れについて、区民の集いは本日の第1回を含め、年2回を予定。
- ・ 第2回目の区民の集いについては、現在のところ、12月上旬に手稲区30周年のロゴマークの選定など、「区の魅力づくり」のテーマに沿った内容で開催したい。
- ・ その他の日程では、「安全・安心なまちづくり」に関して、9月3日に札幌市総合防災訓練があり、区民の集いの参加団体の皆様に出席していただきたい。また、日程は確定していないが、11月以降、手稲区災害時支え合い研修会を予定している。担当部から後日、関係する団体にご案内する。

ク その他  
なし

(5) 次第5 閉会

【笹渕座長】

以上で平成30年度第1回「区民の集い」を終了する。

(以上により議事を終了、すべて事務局原案のとおり承認)

以上